

ここではDV Mixer2を、起動してからチャンネルの選択、テロップの作成、そして放送(エンコード)するまでの一連の流れを簡単にまとめてあります。

## ①DV Mixer2を起動する

デスクトップ上の「DV Mixer2」をダブルクリックしてプログラムを起動します。



## ②チャンネルの設定

チャンネルの設定を行います。チャンネルに放送するビデオとオーディオを設定します。チャンネル1と2はビデオカメラのチャンネル3は動画ファイル選択します。



【オンエア設定】画面のチャンネル1,2,3 ボタンをクリックすると、それぞれのチャンネルに設定したカメラや動画ファイルの映像をオンエア画面に表示することができます。カメラが1台の場合は常に「チャンネル1」に設定しましょう。

## ③テロップの作成

オンエア画面に表示するテロップの作成が行えます。

- 1 DV Mixer2にはあらかじめいくつかのテロップが「定型」して保存してあります。クリックすると作成プレビュー画面に表示され文字の差し替えが行えます。
- 2 文字の入力すると、定型の文字が変更されます。
- 3 フォントの種類や、サイズを設定します。
- 4 文字の色や、エッジ(縁)の色・太さ、影などの設定を行います。
- 5 【確定】ボタンを押すと、作成したテロップが「テロッププレビュー」エリアに表示されます。これで、テロップ表示の準備ができました。



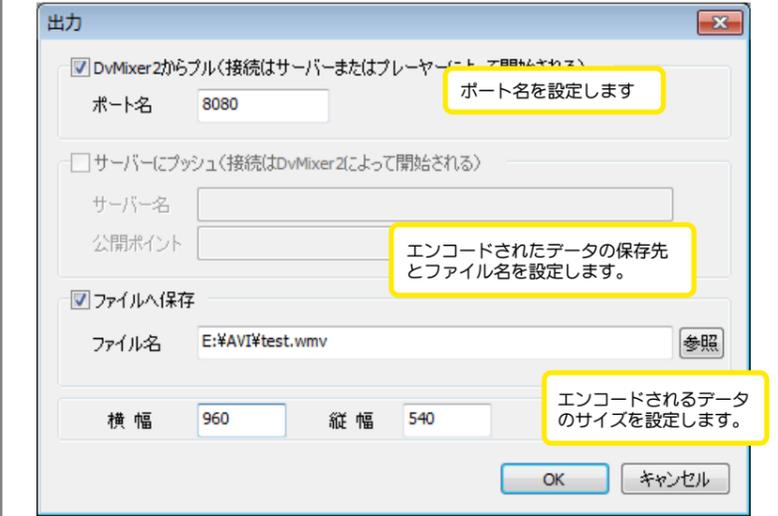
オンエア設定画面の、【テロップON】ボタンをクリックすると、【TELOP PREVIEW】に表示されているテロップが、オンエアに表示されます。エフェクトを設定していれば、テロップ表示時に効果付きで表示します。NEXT/BACKボタンで1つ後、前のテロップを順次表示します。



## ④出力設定

エンコードされるデータの出力設定を行いたい場合は、ファイルメニューから、【出力設定】を開きます。

※1度設定すると情報が保持されますので、変更がない場合は設定の必要はありません



## ⑤動画エンコード

【スタンバイ】ボタンをクリックすると、【動画エンコード中】ボタンに切り替わり、オンエア画面の映像と、音声のエンコードが開く(オンエア画面は実際の放送画面とは異なります)

